



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岩本 順司 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	213,010	△8.9	9,643	△10.4	9,023	△21.1	5,363	163.2
28年3月期第2四半期	233,832	△2.1	10,757	24.2	11,431	18.2	2,037	△50.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 3,263百万円(-%) 28年3月期第2四半期 △3,005百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	12.69	—
28年3月期第2四半期	4.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	523,304	266,991	44.3
28年3月期	535,675	268,345	43.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 231,600百万円 28年3月期 232,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	△5.6	21,000	△14.0	21,000	△16.4	13,500	100.1	31.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	434,487,693株	28年3月期	434,487,693株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	17,481,498株	28年3月期	7,473,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	422,814,958株	28年3月期2Q	433,675,505株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の継続を背景に個人消費が持ち直しつつあるものの、企業の設備投資は円高の進展や新興国経済の減速による企業収益の悪化を受けて回復ペースが鈍化するなど一部に弱さも見られ、全体としては横ばいの状況が続きました。海外経済は、米国は企業の設備投資に弱い動きがみられるものの、雇用拡大を背景に個人消費は堅調に推移しました。欧州は6月の英国国民投票でのEU離脱選択の影響が懸念されたものの、大きな変動は見られず緩やかな回復が継続しました。中国は政府による景気対策の効果がみられるものの成長鈍化傾向が継続しました。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車産業に関しましては、北米・中国での販売好調を受け底堅く推移しました。他方、原油価格の低迷から石油掘削関連需要等は低迷しました。当社の主要原材料である鉄スクラップおよびニッケル価格は、中国経済減速等を背景に下落したため、当社の販売価格も前年同期比で低下しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比208億22百万円減収の2,130億10百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期比24億8百万円減益の90億23百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比33億26百万円増益の53億63百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の北米・中国販売が好調に推移したこと等から、数量が前年同期比で増加しました。工具鋼は、中国経済減速に伴う海外需要の減少等で数量が前年同期比で減少しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、昨年夏場以降、中国が安価な鉄鋼中間製品を周辺アジア諸国に輸出していることを背景に、前年同期比で低下しました。これに伴い、販売価格は前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は原材料価格の下落に伴う販売価格の低下により前年同期比9.1%減少の780億81百万円、営業利益は数量増が寄与し前年同期比5億23百万円増益の26億6百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス製品は、パソコン販売低迷によるHDD需要減少がありましたが、自動車、半導体向けが堅調で、数量は前年同期比で微減にとどまりました。また、原材料であるニッケル価格の下落に伴い、販売価格は低下しました。高合金製品はリードフレーム用素材の在庫調整が終了したこと等から、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、EPS（電動パワーステアリング）向けを中心に数量が増加しました。粉末製品は海外自動車向けの需要が回復し、数量が増加しました。チタン製品は、医療向けが堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は原材料価格の下落に伴う販売価格の低下により前年同期比11.9%減少の711億22百万円、営業利益は数量増、内容構成良化等が寄与し前年同期比12億24百万円増益の74億95百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、原油価格低迷を背景に掘削・石油プラント関連の需要が減少していることから、売上高は前年同期比で減少しました。型鍛造品は、鉄スクラップ価格等の下落に伴う販売単価の低下等により売上高は前年同期比で減少しました。エンジンバルブ部品は、北米自動車販売が好調を維持し、売上高は前年同期比で横ばいとなりました。精密鍛造品は、ターボ関連製品の需要拡大基調が継続し、数量は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比5.5%減少の466億71百万円、営業損益は前年同期比23億65百万円減益の16億10百万円の損失となりました。

④エンジニアリング

一部製品の海外向け売上が好調であったものの、全体としては売上案件が若干減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比13.1%減少の114億50百万円、営業利益は前年同期比6億92百万円減益の3億30百万円となりました。

⑤流通・サービス

大同特殊鋼（上海）有限公司を新たに連結したこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比23.2%増加の56億84百万円となりました。営業利益は前年同期比1億90百万円増益の8億17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ123億71百万円減少し5,233億4百万円となりました。総資産の主な減少の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「受取手形及び売掛金」の減少69億72百万円…主として売上の減少による減少。
- ・「たな卸資産」の減少42億54百万円…主として生産量の減少に伴う減少。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、自己株式の取得等により前期末に比べ13億54百万円減少し2,669億91百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.3%となり、前期末と比べ0.8ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、米国をはじめ先進国は雇用環境の堅調さから底堅く推移すると見られているものの、英国のEU離脱問題などから先行きの不確実性が高まっています。特殊鋼の需要につきましては、主要需要先である自動車産業が堅調に成長していくことが期待されているものの、原油価格の低迷を背景とした石油掘削関連等の需要が低迷しており、今後の動きを注視する必要があります。当社グループに影響を与えうるリスク要因としては、為替変動に伴う需要の減少リスク、資源価格・原材料価格の変動リスク、地政学的リスクなどがあると認識しております。

このような経営環境の中、当社グループは、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化に即応してまいります。また、中期経営計画で目標とした海外売上高の拡大に向けての施策を着実に実施し、お客様との共創、成長領域への注力、QCD（品質、コスト、納期対応力）競争力の強化を進めてまいります。

当期の連結業績につきましては、当第2四半期累計期間の業績および最新の受注動向、原燃料市況等を反映させ、前回（平成28年4月28日）公表した業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,887	31,391
受取手形及び売掛金	93,689	86,716
電子記録債権	5,110	6,132
たな卸資産	95,131	90,876
その他	9,788	9,552
貸倒引当金	△139	△188
流動資産合計	238,467	224,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,638	67,209
機械装置及び運搬具（純額）	75,634	79,076
その他（純額）	49,505	44,600
有形固定資産合計	188,778	190,885
無形固定資産		
のれん	62	36
その他	2,520	2,405
無形固定資産合計	2,583	2,441
投資その他の資産		
投資有価証券	71,407	71,342
退職給付に係る資産	26,239	26,304
その他	8,320	7,966
貸倒引当金	△120	△117
投資その他の資産合計	105,846	105,496
固定資産合計	297,208	298,823
資産合計	535,675	523,304

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,254	40,493
電子記録債務	8,898	23,342
短期借入金	32,836	35,158
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,752	2,717
賞与引当金	6,699	6,782
環境対策引当金	1	1,753
その他の引当金	583	389
その他	22,460	19,137
流動負債合計	143,486	139,775
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	81,849	76,619
環境対策引当金	5,720	3,202
その他の引当金	909	738
退職給付に係る負債	8,998	9,192
その他	16,364	16,785
固定負債合計	123,843	116,538
負債合計	267,329	256,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,722	28,826
利益剰余金	155,250	160,136
自己株式	△3,560	△7,551
株主資本合計	217,585	218,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,826	12,834
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,820	1,820
為替換算調整勘定	2,044	△230
退職給付に係る調整累計額	△2,443	△1,407
その他の包括利益累計額合計	15,247	13,016
非支配株主持分	35,513	35,390
純資産合計	268,345	266,991
負債純資産合計	535,675	523,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	233,832	213,010
売上原価	197,833	177,399
売上総利益	35,998	35,610
販売費及び一般管理費	25,241	25,966
営業利益	10,757	9,643
営業外収益		
受取利息	77	80
受取配当金	1,147	854
持分法による投資利益	330	302
為替差益	82	—
その他	1,126	837
営業外収益合計	2,764	2,074
営業外費用		
支払利息	683	512
為替差損	—	907
環境対策引当金繰入額	632	641
固定資産除却損	342	235
その他	431	397
営業外費用合計	2,089	2,694
経常利益	11,431	9,023
特別利益		
固定資産売却益	—	213
投資有価証券売却益	1,224	18
特別利益合計	1,224	231
特別損失		
投資有価証券評価損	567	63
ソフトウェア開発中止に伴う損失	5,579	—
特別損失合計	6,147	63
税金等調整前四半期純利益	6,509	9,192
法人税、住民税及び事業税	3,284	3,218
法人税等調整額	△445	△108
法人税等合計	2,839	3,109
四半期純利益	3,669	6,082
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,632	718
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,037	5,363

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	3,669	6,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,684	△1,024
繰延ヘッジ損益	△9	△0
為替換算調整勘定	△379	△2,829
退職給付に係る調整額	△581	1,073
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△38
その他の包括利益合計	△6,675	△2,818
四半期包括利益	△3,005	3,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,431	2,994
非支配株主に係る四半期包括利益	1,425	269

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,509	9,192
減価償却費	11,039	11,087
ソフトウェア開発中止に伴う損失	5,579	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	46
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	101
環境対策引当金の増減額(△は減少)	293	△764
その他の引当金の増減額(△は減少)	△378	△367
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	207	317
受取利息及び受取配当金	△1,224	△934
支払利息	683	512
為替差損益(△は益)	△61	561
持分法による投資損益(△は益)	△330	△302
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,224	△18
投資有価証券評価損益(△は益)	567	63
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△223
有形固定資産除却損	346	218
売上債権の増減額(△は増加)	4,366	5,505
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,789	3,193
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,666	△4,118
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,180	1,365
その他	△1,421	△4,856
小計	18,896	20,580
利息及び配当金の受取額	1,375	1,120
利息の支払額	△678	△510
法人税等の支払額	△4,386	△3,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,206	17,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△234	△70
定期預金の払戻による収入	248	458
有形固定資産の取得による支出	△10,424	△13,170
有形固定資産の売却による収入	61	229
投資有価証券の取得による支出	△1,848	△279
投資有価証券の売却による収入	1,773	82
貸付けによる支出	△184	△147
貸付金の回収による収入	188	378
その他	△832	△356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,254	△12,873

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,012	2,262
長期借入れによる収入	3,600	3,500
長期借入金の返済による支出	△2,331	△7,546
自己株式の取得による支出	△7	△3,991
子会社の自己株式の取得による支出	△55	△21
配当金の支払額	△1,519	△1,068
非支配株主への配当金の支払額	△259	△388
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△562	—
その他	△151	△218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,298	△7,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△937
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,590	△3,387
現金及び現金同等物の期首残高	31,776	33,773
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	789	404
会社分割に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△388
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,156	30,402

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	85,931	80,703	49,403	13,180	4,613	233,832	—	233,832
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	42,821	8,966	16,714	1,462	4,906	74,870	△74,870	—
計	128,752	89,669	66,118	14,642	9,519	308,703	△74,870	233,832
セグメント利益	2,082	6,271	754	1,023	627	10,759	△2	10,757

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	78,081	71,122	46,671	11,450	5,684	213,010	—	213,010
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,737	7,299	10,460	773	5,782	55,054	△55,054	—
計	108,819	78,421	57,131	12,224	11,467	268,064	△55,054	213,010
セグメント利益 又は損失(△)	2,606	7,495	△1,610	330	817	9,639	3	9,643

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	28年9月 第2四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	78,081	-7,850	-9.1
機能材料・磁性材料	71,122	-9,580	-11.9
自動車・産業機械部品	46,671	-2,732	-5.5
エンジニアリング	11,450	-1,730	-13.1
流通・サービス	5,684	1,071	23.2
計	213,010	-20,822	-8.9

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	28年9月 第2四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
売上高	213,010	-20,822	-8.9
営業利益	9,643	-1,113	-10.4
営業外収益	2,074	-689	-
営業外費用	2,694	604	-
経常利益	9,023	-2,408	-21.1
特別利益	231	-992	-
特別損失	63	-6,083	-
税引前純利益	9,192	2,682	-
法人税等	3,109	270	-
非支配株主に帰属する 当期純利益	718	-913	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,363	3,326	163.2

(3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	138	1. 販売価格下落	112
2. 変動費改善	7	2. 内容構成差他	24
		3. 固定費の増加	18
		4. 営業外損益	12
		5. 販売数量減少	3
計(a)	145	計(b)	169
		差引(a) - (b)	-24

(参考：原料市況)

	27年9月 第2四半期	28年9月 第2四半期
H2建値 (千円/t)	19.0	15.7
ニッケル(LME) (\$/1b)	5.3	4.3
モリブデン(MD) (\$/1b)	6.7	7.0

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 28年3月末	当第2四半期 28年9月末	増減	科目	前期 28年3月末	当第2四半期 28年9月末	増減
流動資産	238,467	224,480	-13,986	負債	267,329	256,313	-11,016
現金	34,887	31,391	-3,496	営業債務	68,152	63,836	-4,316
営業債権	98,800	92,848	-5,951	有利子負債	136,114	133,172	-2,941
たな卸資産	95,131	90,876	-4,254	その他	63,062	59,304	-3,757
その他	9,648	9,364	-284				
固定資産	297,208	298,823	1,615	純資産	268,345	266,991	-1,354
有形固定資産	188,778	190,885	2,107	株主資本	217,585	218,584	999
無形固定資産	2,583	2,441	-141	その他の包括利益 累計額	15,247	13,016	-2,230
投資その他の資産	105,846	105,496	-350	非支配株主持分	35,513	35,390	-122
資産合計	535,675	523,304	-12,371	負債純資産合計	535,675	523,304	-12,371

(5) 予想セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	予想 29年3月期	前期差	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	158,000	-12,513	-7.3
機能材料・磁性材料	143,000	-12,250	-7.9
自動車・産業機械部品	97,000	-2,679	-2.7
エンジニアリング	25,500	-604	-2.3
流通・サービス	11,500	2,470	27.4
計	435,000	-25,577	-5.6

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 29年3月期	前期差	
		増減額	増減率
売上高	435,000	-25,577	-5.6
営業利益	21,000	-3,432	-14.0
経常利益	21,000	-4,108	-16.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,500	6,753	100.1

(7) 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	196	1. 販売価格下落	165
2. 販売数量増加	18	2. 固定費の増加	58
3. 変動費改善	12	3. 内容構成差他	37
		4. 営業外損益	7
計 (a)	226	計 (b)	267
		差引 (a) - (b)	-41

	前期 28年3月期	予想 29年3月期
H2 建値 (千円/t)	15.5	15.9
ニッケル(LME) (\$/lb)	4.7	4.9
モリブデン(MD) (\$/lb)	5.9	7.3

(8) 設備投資額 (工事ベース) および減価償却費

(単位：百万円)

	前期(28年3月期)		当期(29年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	9,241	23,205	15,791	33,200	6,549	9,994
減価償却費	11,039	22,454	11,087	23,200	48	745

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想 29年3月期
	25年3月期	26年3月期	27年3月期	28年3月期	
売上高	440,428	457,731	483,633	460,577	435,000
営業利益	15,425	18,977	20,408	24,432	21,000
経常利益	16,475	20,287	21,729	25,108	21,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,983	12,616	10,886	6,746	13,500